

# 病院機能評価指標

	指標名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1	高度医療評価制度・先進医療診療実施数	447件	472件	441件	438件	342件
	年度1年間の高度医療評価制度及び、先進医療診療の実施数です。					
2	手術室内での手術件数	6160件	7119件	7496件	8022件	8464件
	全手術件数(100床あたり)	811.59件	937.94件	987.62件	1056.92件	1115.15件
	手術室で行われた医科診療報酬点数表区分番号K920、K923、K924（輸血関連）以外の手術（医科診療報酬点数表2章第10部手術に記載された項目）の件数です。ただし複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合は、合わせて1件とします。					
3	緊急時間外手術件数	231件	271件	362件	392件	407件
	緊急時間外手術件数(100床あたり)	30.43件	35.70件	47.69件	51.65件	53.62件
	緊急に行われた手術（医科診療報酬点数表区分番号K920、K923、K924（輸血関連）以外の手術）で、かつ時間外加算、深夜加算、休日加算を算定した手術件数です。あらかじめ計画された時間外手術は除きます。複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合でも、同一日の複数手術は合わせて1件とします。					
4	手術技術度DとEの手術件数	5277件	6212件	6428件	7766件	8269件
	手術技術度DとEの手術件数(100床あたり)	695.26件	818.45件	846.90件	1023.19件	1089.46件
	外科系学会社会保険委員会連合(外保連)「手術報酬に関する外保連試案(第8版)」において技術度D、Eに指定されている手術の件数です。1手術で複数のKコードがある場合は、主たる手術のみの件数とします。					
5	手術全身麻酔件数	3592件	4280件	4565件	4906件	5785件
	手術全身麻酔件数(100床あたり)	473.25件	563.90件	601.45件	646.38件	762.19件
	手術目的の全身麻酔の件数です。検査等における全身麻酔件数は除きます。					
6	重症入院患者の手術全身麻酔件数	331件	483件	611件	695件	776件
	重症入院患者の手術全身麻酔件数(100床あたり)	43.61件	63.64件	80.50件	91.57件	102.24件
	医科診療報酬点数表における、「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(麻酔困難な患者)」の算定件数です。					
7	臓器移植件数(心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓)	0件	0件	1件	0件	0件
	平成25年度1年間の、心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の移植件数です。同時複数臓器移植の場合は1件として計上します。					
8	臓器移植件数(骨髄)	41件	54件	50件	64件	56件
	1年間の骨髄移植の件数です。					
9	脳梗塞の早期リハビリテーション実施率	68.97%	95.00%	95.74%	92.11%	96.15%
	緊急入院した脳梗塞症例の早期リハビリテーション実施率(%)です。 分子：入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数です。 分母：最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者で、発症から3日以内、且つ緊急入院した患者数です。院内発症した脳梗塞症例は含みません。3日以内退院と転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞を含みます。					
	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率(%)です。 分子：入院翌日までにアスピリンが投与された患者数です。 分母：診断群分類コード上6桁が「050030」(急性心筋梗塞)の退院患者数、緊急入院に限ります。再梗塞を含みます。					
10	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率	63.64%	81.25%	73.53%	96.97%	79.41%
	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率(%)です。 分子：入院翌日までにアスピリンが投与された患者数です。 分母：診断群分類コード上6桁が「050030」(急性心筋梗塞)の退院患者数、緊急入院に限ります。再梗塞を含みます。					
11	新生児のうち、出生時体重が1500g未満の数	24件	28件	35件	34件	27件
	自院における出生数です。死産は除きます。					
12	新生児特定集中治療室(NICU)実患者数	207件	242件	277件	309件	307件
	新生児特定集中治療室(NICU)実患者数(100床あたり)	27.27件	31.88件	36.50件	40.71件	40.45件
	医科診療報酬点数表における、「A-302 新生児特定集中治療室管理料」及び「A-303 総合周産期特定集中治療室管理料2-新生児集中治療室管理料」を算定する新生児特定集中治療室(NICU)にて集中的に治療を行った実人数です。(延べ人数ではありません。)					
13	緊急帝王切開数	81件	95件	107件	99件	126件
	緊急帝王切開数(100床あたり)	10.67件	12.52件	14.10件	13.04件	16.60件
	医科診療報酬点数表における、「K898 帝王切開術1-緊急帝王切開、帝王切開術3-前置胎盤を合併する場合または32週未満の早産の場合」且つ「緊急入院のもの」の算定件数です。分娩患者に対する割合などではなく実数として評価します。 ※今回の算出においては、病院機能指標作成プロジェクトチームでの協議の結果、定義を見直し、「予定入院のものを除く」という条件を加えました。					
14	直線加速器による定位放射線治療患者数	13件	9件	6件	4件	4件
	直線加速器による定位放射線治療患者数(100床あたり)	1.71件	1.19件	0.79件	0.53件	0.53件
	医科診療報酬点数表における、「M001-3 直線加速器による定位放射線治療」の算定件数です。					
15	CT・MRIの放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終了した割合	97.07%	96.88%	95.99%	98.65%	98.65%
	平成25年度1年間の「翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数」を「CT・MRI 検査実施件数」で除した割合(%)です。「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。					
16	核医学検査の放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終了した割合	60.68%	53.36%	61.54%	62.67%	62.67%
	医科診療報酬点数表における、「N000 病理組織標本作製(T-M)」および「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。入院と外来の合計として、細胞診は含みません。					
17	組織診病理診断件数	8429件	9825件	9506件	9994件	9875件
	組織診病理診断件数(100床あたり)	1110.54件	1294.47件	1252.44件	1316.73件	1301.05件
	医科診療報酬点数表における、「N000 病理組織標本作製(T-M)」および「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。入院と外来の合計として、細胞診は含みません。					
18	術中迅速診断件数	431件	437件	469件	528件	604件
	術中迅速診断件数(100床あたり)	56.79件	57.58件	61.79件	69.57件	79.58件
	医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)、N003-2術中迅速細胞診」の算定件数です。					

19	薬剤管理指導料算定件数	13091件	16953件	15549件	18571件	18893件
	薬剤管理指導料算定件数(100床あたり)	1724.77件	2233.60件	2048.62件	2446.77件	2489.20件
医科診療報酬点数表における、「B008 薬剤管理指導料(1)(2)(3)」の算定件数です。						
20	外来で化学療法を行った延べ患者数	9618件	10041件	7772件	7936件	9340件
	外来で化学療法を行った延べ患者数(100床あたり)	1267.19件	1322.92件	1023.98件	1045.59件	1230.57件
医科診療報酬点数表における、「第6部注射通則6 外来化学療法加算」の算定件数です。						
21	無菌製剤処理料算定件数	13515件	13268件	13516件	14636件	16227件
	無菌製剤処理料算定件数(100床あたり)	1780.63件	1748.09件	1780.76件	1928.33件	2137.94件
医科診療報酬点数表における、「G020 無菌製剤処理料(1)(2)」の算定件数です。入院診療と外来診療の合計です。						
22	褥瘡発生率	1.66%	1.71%	1.20%	1.07%	.99%
	1年あたりの褥創発生率(入院してから新しく褥創を作った患者数の比率(%))です。					
23-1	手術あり肺血栓症予防対策実施率	91.00%	92.41%	93.63%	95.49%	96.87%
	肺血栓症リスクの高い患者に対する、予防対策の実施割合です。					
23-2	手術あり患者の肺塞栓症の発生率	0.11%	0.09%	0.10%	0.15%	0.39%
	肺塞栓症リスクの高い患者に対する、肺塞栓症の発生率(%)です。					
24	多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数	1件	5件	2件	3件	1件
	平成25年度1年間の新規MDRP発症患者数です。保菌者による持ち込み感染は除き、入院3日目以降に発生したものを計上します。					
25	CPC(臨床病理検討会)の検討症例率	12.29%	6.44%	11.45%	12.68%	7.61%
	平成25年度1年間のCPC(臨床病理検討会)のCPC件数を死亡患者数で除した割合(%)です。自院での死亡退院を対象とします。ただし、学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例は検討症例数に含めます。					
26	新規外来患者数	21159件	21905件	21847件	23111件	22752件
	新規外来患者数(100床あたり)	2787.75件	2886.03件	2878.39件	3044.93件	2997.63件
平成25年度1年間に新規にIDを取得し、かつ診療録を作成した患者数です。診療科単位ではなく病院全体単位で新規にIDを取得した場合が該当します。外来を経由しない入院も含まれます。						
27	初回入院患者数	8716件	10314件	10896件	11606件	11892件
	初回入院患者数(100床あたり)	1148.35件	1358.89件	1435.57件	1529.12件	1566.80件
年度1年間の入院患者の内、入院日から過去1年間に自院に入院履歴がない入院患者数です。(例:平成25年9月1日に入院した症例の場合、平成24年9月1日~平成25年8月31日までの間に自院入院が無い場合を過去1年間入院なしと判断します。)診療科単位ではなく、病院全体として考え入院履歴が無い場合が該当します。保険診療、公費、労災、自動車賠償責任保険に限定し、人間ドック目的の入院は除きます。						
28	10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数	29件	45件	64件	79件	91件
	年度1年間に10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数です。「10例以上」とは特異な事情(バリエーション)によるパスからの逸脱(ドロップアウト)を含み、当該年度内に適用された患者数とします。パスの数は1入院全体だけではなく、周術期等の一部分に適用するパスでも1件とします。					
29	在院日数の指標	0.96	0.96	0.99	NA	NA
	厚生労働省のDPC評価分科会の公開データです。(平成25年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値(13.30日)を、DPC毎の患者構成を平成25年度全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数で除した値)					
30	患者構成の指標	1.09	1.08	1.09	NA	NA
	厚生労働省のDPC評価分科会の公開データです。(DPC毎の在院日数を、年度全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数を、年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値で除した値)					
31	指定難病患者数	NA	NA	NA	2658件	2915件
	指定難病患者数(100床あたり)	NA	NA	NA	350.20件	384.06件
平成28年度1年間の指定難病実患者数です。指定難病は「難病の患者に対する医療等に関する法律(平成二六年法律第五〇号)」第五条第一項に規定する疾患を対象とします。(平成28年8月1日時点で306疾患)。						
32	超重症児の手術件数	3件	12件	8件	2件	5件
	医科診療報酬点数表における、「A212-1-イ 超重症児入院診療加算」及び、「A212-2-イ 準重症児入院診療加算」を算定した患者の手術(医科診療報酬点数表区分番号K920、K923、K924(輸血関連)以外の手術)件数です。					
33	初期研修医採用人数	59人	74人	66人	78人	63人
	初期研修医採用人数(100床あたり)	7.77人	9.75人	8.70人	10.28人	8.30人
初期研修プログラム一年目の人数です。2年間の初期研修の一部を他病院で行う、「たすき掛けプログラム」の場合でも大学病院研修に限定せず、プログラムに採用した全体人数を計上します。						
34	他大学卒業の初期研修医の採用割合	33.90%	33.78%	37.88%	39.74%	47.62%
	他大学卒業の初期研修医の採用割合(%)です。					
35	専門医、認定医の新規資格取得者数	75人	45人	82人	95人	113人
	専門医、認定医の新規資格取得者数(100床あたり)	9.88人	5.93人	10.80人	12.52人	14.89人
年度中に自院に在籍中(あるいは、自院の研修コースの一環として他院で研修中)に、新たに専門医または認定医の資格を取得した延べ人数です。1人の医師が2つの専門医を取得した場合は2人とします。他院の医師であっても、自院で研修して取得した場合も含まれます。						
36	指導医数	181人	204人	195人	254人	261人
	指導医数(100床あたり)	23.85人	26.88人	25.69人	33.47人	34.39人
6月1日時点で、医籍をおく医師のうち、臨床経験7年目以上で指導医講習会を受講した臨床研修指導医人数です。臨床研修指導医、及び臨床経験の定義は、「※医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について(厚生労働省平成15年6月12日)」に従います。						

37	専門研修コース(後期研修コース)の新規採用人数	66人	58人	69人	89人	73人
	専門研修コース(後期研修コース)の新規採用人数(100床あたり)	8.70人	7.64人	9.09人	11.73人	9.62人
後期研修コース一年目の人数です。 大学が設置したプログラムに採用した人数です。 他院で研修を開始する場合を含みます。						
38	看護師の外部の医療機関などからの研修受け入れ人数	88.0人日	179.0人日	267.6人日	1158.3人日	199.5人日
	看護師の外部の医療機関などからの研修受け入れ人数(100床あたり)	11.59人日	23.58人日	35.26人日	152.61人日	26.28人日
年度1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。 外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。						
39	看護師の受け入れ実習学生数(自大学から)	3650.5人日	7227.0人日	4559.1人日	2415.0人日	4550.0人日
	看護師の受け入れ実習学生数(自大学から)(100床あたり)	480.97人日	952.17人日	600.67人日	318.18人日	599.47人日
年度1年間の保健学科・看護学科等の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。						
40	看護師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	2383.9人日	1816.4人日	3872.0人日	3581.6人日	3874.4人日
	看護師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)(100床あたり)	314.09人日	239.31人日	510.14人日	471.88人日	510.46人日
年度1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日(人数×日数)です。一日体験は除きます。						
41	薬剤師の外部の医療機関などからの研修受け入れ人数	300.0人日	309.2人日	110.0人日	60.0人日	0.0人日
	薬剤師の外部の医療機関などからの研修受け入れ人数(100床あたり)	39.53人日	40.74人日	14.49人日	7.91人日	0.00人日
年度1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。 外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。						
42	薬剤師の受け入れ実習学生数(自大学から)	NA	NA	NA	NA	NA
	薬剤師の受け入れ実習学生数(自大学から)(100床あたり)	NA	NA	NA	NA	NA
年度1年間の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。						
43	薬剤師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	6182.8人日	6584.1人日	1788.4人日	1843.2人日	1739.1人日
	薬剤師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)(100床あたり)	814.60人日	867.47人日	235.63人日	242.85人日	229.13人日
年度1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日(人数×日数)です。一日体験は除きます。						
44	その他医療専門職の外部の医療機関などからの研修受け入れ人数	172.9人日	249.9人日	336.6人日	270.6人日	131.1人日
	その他医療専門職の外部の医療機関などからの研修受け入れ人数(100床あたり)	22.78人日	32.92人日	44.35人日	35.65人日	17.17人日
年度1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。 外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。 その他の医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職(※)を指します。						
45	その他医療専門職の受け入れ実習学生数(自大学から)	0.0人日	2377.1人日	2232.0人日	802.0人日	0.0人日
	その他医療専門職の受け入れ実習学生数(自大学から)(100床あたり)	0.00人日	313.18人日	294.07人日	105.72人日	0.00人日
年度1年間の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。 その他の医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職をさします。						
46	その他医療専門職の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	2286.0人日	2300.8人日	2874.3人日	3441.0人日	4253.4人日
	その他医療専門職の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)(100床あたり)	301.19人日	303.13人日	378.70人日	453.36人日	560.40人日
年度1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日(人数×日数)です。 一日体験は除きます。その他の医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職をさします。						
47	治験の実施症例件数	79件	111件	108件	170件	157件
	治験の実施症例件数(100床あたり)	10.41件	14.62件	14.23件	22.40件	20.69件
実施症例件数です。登録件数ではなく、実施完了件数(※)です。 ※治験終了の有無を問わず、契約した治験で実施の済んだ症例数						
48	治験審査委員会(IRB)・倫理委員会で審査された自主臨床試験の件数	NA	NA	NA	35件	58件
	治験審査委員会(IRB)・倫理委員会で審査された自主臨床試験の件数(100床あたり)	NA	NA	NA	4.61件	7.64件
治験審査委員会・倫理審査委員会で審査された治験以外の新規臨床研究(いわゆる自主臨床研究、または自主臨床試験、と総称している)の件数です。当項目での臨床研究とは、医療法施行規則第六条の五の三第二号に該当する特定臨床研究のうち、医薬品・医療機器・再生医療等製品を用いた臨床研究(医薬品・医療機器等を用いた侵襲及び介入を伴う研究)を指します。						
49	医師主導治験件数	1件	2件	4件	8件	14件
	実施中の医師主導治験の数です。患者数ではありません。 当該年度に一例も実施されなかったものは除きます。					
51	救急救命患者数	2042件	2026件	2084件	2356件	2296件
	救急救命患者数(100床あたり)	269.04件	266.93件	274.57件	310.41件	302.50件
救急救命患者の受入数です。ここで「救急救命患者」とは医科診療報酬点数表における、「A205 救急医療管理加算」または「A300 救命救急入院料」、 「A301 特定集中治療室管理料」、「A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料」、「A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料」、「A301-4 小児特定集中治療室管理料」、「A302 新生児特定集中治療室管理料」、「A303 総合周産期特定集中治療室管理料」を入院初日に算定した患者を指し、必ずしも救命救急センターを持たない施設でも使用できる指標とします。救急外来で死亡した患者も含みます。						
52	二次医療圏外からの外来患者の割合	32.74%	6.49%	66.31%	65.39%	65.45%
	年度1年間の自施設の当該二次医療圏外に居住する外来患者の延べ数を外来患者述べ数で除した割合(%)。二次医療圏とは、医療法第30条の3 第2項第1号及び第2号により規定された区域をさします。「外来患者」数は延べ数としますが、その定義は、初再診料を算定した患者とし、併科受診の場合で初再診料が算定できない場合も含みます。入院中の他科外来受診は除きます。検査・画像診断目的の受診は、同日に再診料を算定しない場合に限り1人とします。住所の不明な患者は、二次医療圏内とします。					
53	公開講座等(セミナー)の主催数	56件	61件	37件	65件	80件
	年度1年間に自院が主催した市民向けおよび医療従事者向けの講演会、セミナー等の開催数です。学習目的及び啓発目的に限り、七夕の夕べ、写真展等の交流目的のものは含みません。また、主として院内の医療従事者向け、入院患者向けのものも含みません。他の主催者によるセミナー等への講師参加は含みません。医療従事者向けのブラッシュアップ講座等病院主催として、病院で把握できるものは含みます。					
54	地域への医師派遣数	204件	983件	1155件	1194件	1146件
	地域への医師派遣数(100床あたり)	26.88件	129.51件	152.17件	157.31件	150.99件
6月1日時点での、地域の医療を安定的に維持することを目的に、常勤医として、自院の外へ派遣している医師数です。自院の分院への派遣は含みません。同門会などからの派遣についても含めて計上します。						